

みなさんこんにちは。

追手門学院大手前中・高等学校校長の濱田です。

高校1年生の皆さんの中には、初めてお目にかかる人もいるかもしれません。はじめまして、ようこそ追手門学院大手前へ。

さて、先月ここでお話した新型コロナウイルス感染症は、その後感染拡大はとどまることもなく、全世界に広がり現在約100万人が感染し、5万人以上が亡くなっています。日本でも2,800人が感染し84名の方がお亡くなりになりました。

そこで、本日は再度残念なお知らせをお伝えしなければなりません。

昨日、大阪府は府立学校の休校措置をGW明けまで延長することを決定いたしました。

これを受けて、本校でも、何よりも皆さんの安心安全を最優先に考え、4月7日の中・高入学式を規模縮小で実施し、5月6日までの休校を継続するという苦渋の選択を再びいたしました。非常に残念です。

しかし、今回の休校と前回のものとは大きな違いがあります。それは皆さんの学力を保障し、GWあけの授業再開に万全の態勢で臨んでほしいということです。

つきましては、今回は感染予防に努めながら数日登校日を設けて、学習についての説明、指示などを行います。そして、インターネットなどを使って授業なども行っていく予定です。

このことについては、この後が主幹教諭の福島先生からお話があります。

さて、皆さん。今こそあなた方の「自己管理能力」が問われるときです。

朝きっちり学校に行く時間に起きていますか

朝昼晩3食しっかりとっていますか

学習時間は確保していますか

前回お話ししたように、いましかできないこと実践していますか

そして、スマホやゲームに依存していませんか

当たり前のこれらができているでしょうか。もしできていない人があればこのさいしっかり反省してください。当たり前のことでもそれができれば自己肯定感がまし、それが自信につながります。

特に高校3年生。東京オリンピックは一年延期されましたが、君たちの入試は延期も中止もされません。入試は待つてはくれません。こんな時にこそ冷静にやるべきことをやりましょう。時間はたくさんできました。いままでやってこなかった人、チャンスです。

最後に、今若者の行動が注目を浴びています。自分の行動が社会や世界に及ぼす重大な影響について想像力を働かせて十分自覚してください。生徒の皆さんには、まず他人事ではないという強い危機意識を持って、正確な情報を収集し、適切な行動をとることを切に願います。

それでは、GWあけ皆さんの素敵な笑顔に会えることを願って私の言葉とします。

令和2年4月3日 追手門学院大手前中・高等学校

校長 濱田 賢治